

# 秋さけ資源利用配分適正化事業調査 (抄 録)

川 村 俊 一・鈴 木 史 紀・伊 藤 欣 吾

## 1. 日本海重点調査

### (1) 定置網追跡調査

- 1) 青森県西津軽郡深浦町大戸瀬地先において、10月中旬から11月下旬にかけて、3個の標識を装着した秋さけ455尾を放流した。
- 2) 再捕された放流魚は全体で173尾で再捕率は38.0%であった。
- 3) 再捕後再放流された個体は5尾で、そのうち2尾が再々捕されたが、河川まで到達した個体はなかった。

### (2) 大量放流調査

- 1) 青森県西津軽郡深浦町大戸瀬地先において、10月と11月の自主規制期間中に定置網に入網した秋さけに標識を1個装着し、それぞれ15尾、269尾、合計284尾を放流した。
- 2) 再捕された放流魚は全体で65尾で再捕率は22.9%であった。

### (3) 日本海重点調査全体

- 1) 再捕状況から青森県日本海に来遊した秋さけ資源は、青森県産資源が中心であったと考えられた。
- 2) 秋田県以南の県外産南下資源の混入は、漁期後半に高くなる傾向にあり、尾数としては11月中・下旬に多くが出現した。

## 2. 沖 合 域 調 査

### (1) はえなわ放流調査

- 1) 青森県三沢市沖から階上町沖にかけて6地点ではえなわ操業を行ったが、1尾漁獲されたのみで、この個体を放流したが、再捕の報告を得ることができなかった。

---

発表誌名

平成6年度秋さけ資源利用配分適正化事業報告書（青森県）